

2022 年 10 月 4 日
ヤマトプロテック株式会社

<報道関係者各位>

フッ素化合物を一切含まない製品「OF1(オーエフワン)」シリーズ第一弾 日本初！有害物質ゼロの消火器「YFX-3」※1

2023 年 1 月より販売開始

総合防災カンパニー・ヤマトプロテック株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長 佃 正博)は、**フッ素化合物を一切含まない製品ラインナップ「OF1(オーエフワン)(商標登録第 6604236 号)」シリーズを展開いたします。**シリーズ第一弾として、3L タイプの業務用ゼロフッ素 強化液(中性)消火器「YFX-3」を 2023 年 1 月より発売します。

全国の販売代理店・防災店を通じて発売し、初年度の販売目標本数は 1 万本(発売日から 1 年間)を予定しています。



OF1 ブランドロゴ



YFX-3

■ 「OF1 シリーズ」開発の背景

フッ素化合物は人類の生活を豊かにした化学物質です。しかし、その一部は自然界で分解されにくく、生態・生体への悪影響が指摘されており、人間活動から遠く離れた北極圏に生息する野生動物からも検出されています。

2019 年 5 月の国際会議(残留性有機汚染物質に関するストックホルム条約の第 9 回締約国会議)では、フッ素化合物の一種である PFOA の規制および、PFOS の規制見直しが決議され、今後、PFOA 関連物質、PFHxS 及びその関連物質の規制も検討されています。

一方で、消火剤を使用する消火器や消火設備は設置が義務付けられており、あらゆる人の生活環境と密接にあります。より安心・安全に消火器を使用できることを目指し、フッ素化合物を一切含まない製品「OF1(オーエフワン)」シリーズを開発しました。

当社は、引き続き OF1 シリーズの製品ラインナップを充実させることで、「ゼロフッ素」の社会を目指していきます。

■ 「YFX-3」製品の特長

本製品は、フッ素化合物を一切含まない強化液(中性)消火薬剤を使用しているため、フッ素化合物に関する規制の対象になりません。

また、本製品は持続可能な開発目標(SDGs:Sustainable Development Goals)に提唱される、11・12・14 のゴール達成に貢献すべく開発されています。



街にも設置される業務用消火器に、フッ素化合物が入っていないため持続可能なまちづくりに貢献しています。



有害なフッ素化合物を使用していないことにより、化学物質の放出を大幅に削減しています。



陸上活動による汚染や海洋汚染を防止し、大幅に削減しています。



■ OF1(オーエフワン)シリーズ

OF1 とは、O(オー)が 0(ゼロ)を、F がフッ素を表した「ゼロフッ素」を意味する新しい製品ラインナップです。今回の業務用強化液(中性)消火器(OF1 LIQUID)を皮切りに、今後、ゼロフッ素の泡消火薬剤(OF1 FOAM)や消火システム(OF1 SYSTEM)の開発も進めて参ります。

■ 製品の仕様

品名	YFX-3
種別	小型消火器
型式	強化液(中性)3L(蓄圧式、鉄製)
型式番号	消第 2020~5 号
使用温度範囲	-20℃~+40℃
総質量	約 5.8 kg
全高	約 49 cm
容器外径	12.9mm
充填薬剤量	3L
放射時間(20℃)	約 51 秒
放射距離(20℃)	3~5m
能力単位	A-1・B-1・C

※1 本消火薬剤は消火器用消火薬剤の特許をもとに環境面に配慮して改良した消火薬剤です。

■ 会社概要

会 社 名: ヤマトプロテック株式会社

創 業: 1918(大正 7)年 1 月 17 日

本 社: 東京都港区白金台 5-17-2

資 本 金: 9,900 万円

代 表 者: 代表取締役社長 佃 正博

事 業 内 容: 消火装置・火災警報装置・避難誘導装置・公害防災関係・管工事・電気工事等の設計、
施工監理及び維持管理・建築設計、施工及び監理・消火器具機械・消火剤の製造及び
販売・防犯設備・その他関連ある付帯事業一切

U R L : <https://www.yamatoprotec.co.jp/>

関 連 会 社: 国内 6 社 / 海外 5 社

従 業 員 数: 362 名(2022 年 1 月 1 日現在)

◇ 本リリースに関するお問合せ先 ◇

株式会社イニシャル: 近藤、三木

TEL: 03-5572-7332 Mail: yamatoprotec@vectorinc.co.jp

◇ 商品に関するお問合せ先 ◇

ヤマトプロテック株式会社 広報担当: 中川

TEL: 03-3446-7153 Mail: TKT10@yamatoprotec.co.jp